

### ■事前伐採現場の視察

三区森林組合の伐採現場を視察した。現場は伐採したことがわからない程度であり、まだ利用できる材があることも確認できた。

また、切り出した材は末口 46cm になるものもあり、WS メンバー一同誇らしげで、材として活用することを楽しみにしているようであった。切り出した材は地域材の活用意義が実感されたのではないかと思われる。



### ■村有林カラマツの事前伐採・製材の考え方についての意見交換

現場の視察を終え、会議室に戻り、村有林カラマツの事前伐採・製材の考え方について意見交換を行った。事例伐採した材は斎藤木材に製材を発注する予定であるとのことであったが、斎藤木材は集成材専門の製材所であることもあり、伐採した原木のうち製品になるのは4割程度であるとのことであった。

立派な材を見たあとであったので、より有効な材の活用方法を検討する必要があるのではないかという意見も出た。

また、奥茂から事前伐採した場合の製材の規格の提案を行ったが、現段階では化粧材、家具用の材、集成材用のラミナーを作ることが適当であることや、構造設計が決まっていない現段階では構造材を製材することは難しいということのみなで確認した。また家具用の材について、家具職人に必要な材寸等をヒアリングするよう奥茂からアドバイスを行った。



### 【参考】奥茂からの提案内容

#### ■朝日村 村有林カラマツ事前伐採・製材の考え方

——朝日村でH25年度に建設が予定されている保育園(木造 1,500 m<sup>2</sup>程度)の建設用材として、H24年1月より村有林のカラマツ(末口 400mm~500mm)を計画伐採し、製材・乾燥してストックしておく(松本森林組合が実施)。その際、設計が未着手である今年度に関しては、製材しておく材寸その他の規格について、以下のような想定を行うことが考えられる。

- 構造材(JAS構造用製材規格に準ずる)
  - ・柱材;120角、150角、165角 等 (各長さ;3m、6m)
  - ・梁材;150×300、120×300、120×240 等 (各長さ;4m)
- 造作材(JAS構造用造作材規格に準ずる)
  - ・羽柄材;45×90、45×105、45×120 等 (各長さ;適宜)
  - ・板材;厚30mm(幅;120mm)、15mm、12mm 等 (各幅;90mm)
- 集成材用ラミナー(JAS 集成材用製材規格に準ずる)
  - ・30×150 等 (長さ;適宜)